



沖縄闘牛とは

Okinawa's Bullfighting

沖縄では昔から馴染み深い娯楽のひとつ

「ヒーヤイ」「ハイヤー」。独特の掛け声が響き渡り、それに応えるようにぶつかりあう巨体、上がる土煙。「牛オーラセー」と呼ばれる沖縄闘牛は、古くは琉球王朝から現在に至るまで大衆娯楽として親しまれています。闘牛界最大のイベントである全島大会は開催100回を超え、毎回3千人超の観客が駆けつけて立ち見が出るほどの盛況ぶりです。闘牛のまち「うるま市」の石川多目的ドームを拠点に、地域大会も年25回ほど開かれています。まだ見たことないなんてもったいない。さあ、闘牛場へ！



伝説の闘牛

数々の名牛が誕生した沖縄闘牛界で、伝説の名牛とされる牛がいます。その名も「ゆかり号」。1960年代に前「牛」末踏の41連勝を記録し、6年間不敗を守り続けました。その記録はまだまだ破られていません。その人気は社会現象を巻き起こすほどで、施設や子どもの名前に「ゆかり」と名付ける人が続出しました。石川多目的ドームには、その功績をたたえた石碑が立てられています。



モーモー ビギナーズセミナー

MōMō BEGINNERS SEMINAR



知識もなければルールもよく分からなくて…と不安なあなたのために闘牛のイロハをお伝えするよ！

① 闘牛はオス？メス？

すべて雄牛(オス)だよ。繁殖期を迎えた雄牛が闘って雌牛(メス)を獲得しようとする習性から生まれた競技だよ。



② 闘牛の数は？

大会デビューしていない子牛も含めたら400~500頭いると言われてるよ。試合で活躍しているのはそのうち250頭ぐらいだよ。

③ 現役期間は？

10歳を超えてくると、気力・体力的にも厳しくなってくるので、そこは牛主の判断になるんだ。でも闘志がみなぎっている間はずっと現役でいられるので、15歳の現役牛もいるよ。



④ 闘牛の体重は？

大会では850キロ以下を軽量級、950キロ以下を中量級、それ以上を重量級(無差別級)として階級分けしているよ。



⑤ 闘牛のルール

ルールは一つだけ。それは「逃げたら負け」。早い時間で勝負が決まることもあれば、30分を超える取り組みもあるよ。勝負がなかなか決まらない場合は引き分けになるよ。



⑥ 試合の楽しみ方

牛の呼吸や角を使った技、闘牛士の掛け声に注目すると更に楽しめるよ。会場では実況アナウンサーが分かりやすく説明してくれるので、実況聞きながら観戦してね。



⑦ 大会はいつ行われているの？

大会は、基本的にうるま市の石川多目的ドームで日曜日に開かれているよ。駐車スペースに限りがあるから時間に余裕をもって来たほうが良いよ。



⑧ 闘牛は何歳？

牛によって異なるけど、デビューはだいたい4歳頃。体力的に最も勢いがあるのは8~9歳ごろで、10歳を超えるとベテランと呼ばれるよ。



⑨ 闘牛士

牛の側で「ヤグイ」と呼ばれる独特の掛け声を掛けている人たちが「闘牛士」(勢子と呼ばれることも)だよ。取り組みの勝敗をにぎる大切な役割があるんだ。

⑩ 全島大会ってなに??

県内最大の闘牛大会で、春、夏、秋と年に3回開かれるよ。他の大会で良い成績を収めた牛しか出場できない、牛のオーナーさん憧れの大会!チャンピオンを決める各階級のタイトル戦も行われるよ。